

## 臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	13
研究課題名	胆道閉鎖症全国登録事業・胆道閉鎖症の年次登録と予後追跡調査による疫学研究
研究責任者 (試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)	小児外科 部長 近藤公男
共同研究者 (利用する者の範囲)	小児外科 大澤義弘
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	胆道閉鎖症（以下本症）は新生児・乳児早期に黄疸で発症して手術を必要とする代表的な疾患で、手術の成否がその予後に重大な影響をおよぼします。本邦における本症の発生頻度と治療成績の傾向を正確に把握することは、本症の基礎的臨床的な研究発展に必要であり、治療成績の改善、疾病の予防にも重要です。日本胆道閉鎖症研究会は本症の実態の調査および治療成績向上を目的として、本症の登録事業を行います。
他の研究機関(共同研究機関含む)への情報提供の有無、及び提供先の研究機関名・その提供方法	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有に <input checked="" type="checkbox"/> した場合、提供先の研究機関名 及び その提供方法 本研究で得られた情報を、将来新たに計画・実施される医学系研究に利用する可能性があります
研究実施期間	～2027/01/31
研究対象者及び対象期間	1989 年以降に当院で胆道閉鎖症に対する治療を受けた方・2022 年10 月（倫理委員会承認後）～2027 年 1 月
利用する情報 (利用し、または提供する試料・情報の項目)	生年月日、性別、病歴、治療歴、続発症等発生状況、検査結果データ等
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	